



熊本市でも **マイコプラズマ肺炎が増えています**

全国では過去最多

どんな病気？

「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる、呼吸器感染症です。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、冬にやや増加する傾向があります。

患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2~3週間くらいとされています。

症状について

発熱や全身倦怠感(だるさ)、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は少し遅れて始まることもあります。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。多くの人はマイコプラズマに感染しても気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となり、重症化することもあります。

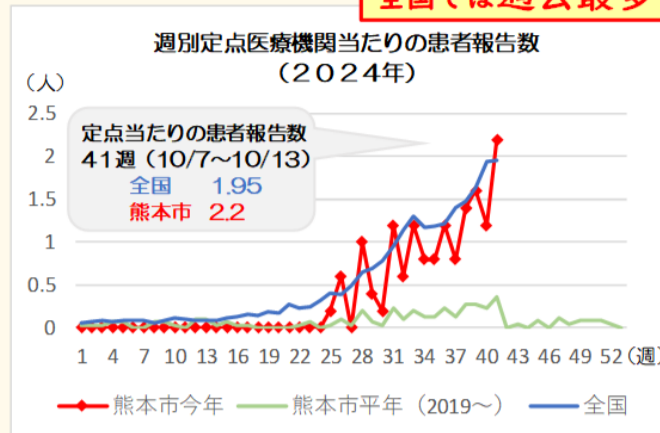
治療について

抗菌薬(抗生物質)によって治療します。軽症ですむ人が多いですが、重症化した場合には、入院して専門的な治療が行われます。長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。



普段から、手洗いをするのが大切です。

咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。



定点種別	疾患名	状況	40週(9/30~10/6)		41週(10/7~10/13)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	16	0.64	11	0.44
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	47	1.88	48	1.92
小 児 科	RSウイルス感染症	/	9	0.56	0	0.00
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	6	0.38	3	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	38	2.38	65	4.06
	感染性胃腸炎	—	41	2.56	38	2.38
	水痘(みずぼうそう)	—	0	0.00	1	0.06
	手足口病	○	111	6.94	145	9.06
	伝染性紅斑(りんご病)	—	2	0.13	0	0.00
	突発性発しん	/	7	0.44	5	0.31
	ヘルパンギーナ	—	3	0.19	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	16	3.20	10	2.00
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	6	1.20	11	2.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし